

2010 年度受託研究概要報告
メディテラスでのVMD開発
研究メンバー

瀬能徹	デザイン学部ファッションデザイン学科准教授
久富敏明	デザイン教育研究センター准教授
田頭章徳	デザイン学部プロダクトデザイン学科助教
見明暢	デザイン学部プロダクトデザイン学科助教

委託者

株式会社ワールド

研究概要

「メディテラス」において、時代性や世代のニーズを新しい視点で捉え、集客力向上を目的としたビジュアルプレゼンテーション、並びにビジュアルマーチャンダイジングを計画・実施する。

現在、三宮元町間での集客を考えたとき、ファッション関連の店舗は競合他社を含め競争が激化している。VMD と言っても単に、ディスプレイを示す範囲ではなく、サービスやイベントも含めリピーターを確立するための手段とは何かを考える。

ウィークデー・セール期間・昼と夜間など、時間や商環境の変化に伴う動員数の変化について調査・分析し、様々な視点から集客のためのプランを提案する。

実施のモデルとして、売り場でプランを再現し消費者の反応と売り場の意見も含め今後の提案の参考となる実績をつくる。

研究成果

株式会社ワールドのファッションライフスタイルストア神戸元町「メディテラス」に於いて、時代性や世代のニーズを新しい視点で捉え、集客力向上を目的とし、10月16日から11月18日まで『あなたは美しい』…さらに「最善へ…」をテーマに、ミニボディを用いたペーパークラフトドレスで店内を演出した。

プロジェクトは、現場説明会と調査・分析から始まり、学内でチームを組みプランニングに取りかかった。ワールドのプロデューサー、現場のディレクターを始めスタッフを本学にお招きし、数回に及ぶプレゼンテーショ

ンを行った。厳しい意見の飛び交うプレゼンテーションで、半ば、やや重い空気で進行したが、9月の最終プレゼンテーションで8案の中から無事1案が決定した。

そのプランがミニボディを用いたペーパークラフトドレスで、その後プロジェクトメンバー全員で制作に励んだ。

10月15日、設営日をむかえ全員で現場に臨んだ。ワールドのスタッフの方々の現場でのサポートに感動したのは、時間が深夜に及んでもプロデューサーの立場から問題を見つける都度、メンバーを集めて研修を行ってくれたことである。学内のスタジオでは出来ない、実際の売り場をモチーフにアイデアとアドバイスを頂き、ライブ感覚で勉強ができたことは、貴重な経験となった。

11月18日、展開が終了。売り場、来客共好評に終わった。アンケートの実施もあり、現場のニーズも理解することができ、次年度につながる提案ができた。



写真1 神戸元町「メディテラス」における店内演出



写真2 現場での説明風景